

# しんぶんおしお

09  
2018



網地島のドウメキザキ岬

郷の音 高橋 千春さん

特集 移住地としての網地島

暮らし

- ・ 牡鹿地区の敬老会
- ・ 石巻市消防署牡鹿地区団の消防演習
- ・ 小湊浜の花火大会
- ・ 新川二郎特別歌謡ショー

東北学院大学と鮎川小学校のコラボ企画！

郷土を愛する心を育む

お知らせ



# 移住地としての 網地島



鮎川港から直行便で約20分の網地島、長渡浜。いつも目の前に見えているけれど、なかなか訪れることのないちよつと離れた島。

夏になると、エメラルド色の透き通った海を求めて、網地白浜海水浴場は海水浴客で賑わいます。長渡浜はその反対側に位置している静かな港町です。

港に降り、迎えを待つ島の人の顔や待合所にいる猫を見ていると、一気に時間の流れが緩やかに流れます。

ここ数年、この島に移住してきた若い世代の人達が多くいると聞きます。彼らは何を求めて島に移住し、どんな暮らしをしているのでしょうか。

# 郷の音



## 高橋 千春 (たかはし ちはる) さん

6月上旬、東京で開催された内閣総理大臣杯第61回全国空手道選手権大会の個人女子組手で優勝した網地島出身の高橋千春さん(東北福祉大学4年)。これまでの空手の歩みをお聞きました。



全国大会の決勝戦 (写真左)

高橋さんは網地島長渡浜の出身。小学校入学前、旧牡鹿公民館でお父さんが教えていた空手道場に顔を出しました。「遊びに行くつもりだったけど、小学校1年生の頃から道着を着て、気が付いたら二緒にやっていました。小さい頃に空手かピアノかどっちを続けるか親に聞かれた時に、『空手!』って答えたそうなんです。幼い頃の話なので全然覚えてないんですけど(笑)」。空手を続けていく中で、何度か辞めようと思ったこともあるのだそう。お父さんに相談すると、そのたびに反対されていたと言います。「今になって考えると、自分が決めたことは最後までやり遂げなさいって言われていたのかなと思います」。

空手から離れようかと悩んでいた中学3年生のときに出会った佐藤映里先生(現在日本代表コーチ)の勧めで、県立角田高校へと進学しました。高校時代は空手漬けの日々を送りました。

高校卒業後は、小さい頃から空手を教えてもらっていた先生が在籍する東北福祉大学に進学しました。ここでの学びが空手と向き合う上で大きな転換点だったと話します。「大学に入って初めて空手が楽しいと思えたんです。空手を楽しむことを第一に教えている先生ということもあって、楽しそうに練習していないと、笑

顔忘れてるよ!」って注意されるんです。だから部員みんな笑顔で空手をしていて、その一体感がすごく好きなんです」。空手を楽しむことを大切に練習に臨んできたことが、全国大会での優勝という結果につながったとも話しました。「今大会も優勝しようという気持ちではなく、これまでの練習で積み重ねてきたことを出し切ろうと思っただけで毎試合臨んでいたのが良かったんだと思います」。

全国大会の当日、両親が応援に来ていました。「優勝した直後に先生から、お父さんお母さんに報告してこい!」と言われて、観客席に行ったらお母さんは泣きながら抱きしめてくれました。でも父からは特に何も言われなくて…。数日後、家に帰るとお父さんから「おめでとう」と祝福の声をかけられました。「父は私が何を選択したとしても、やりたいことを全力で応援してくれるし、サポートしてくれます。今回の優勝を一番喜んでいたのは、たぶん父だと思います(笑)」と照れたように笑顔になりました。

お父さんに教わり、幼い頃から十数年続けてきた空手。大学を卒業した後も空手をずっと続けていきたいと高橋さんは語りました。



熊谷陸(くまがいりく)さん  
妻の美佳子(みかこ)さん・娘の多麻(たお)ちゃん

## 地球環境に優しい 麻の魅力を見つめて

## じも地球も健康に

岩 手県出身のミックルソン  
美智枝さん(みちえ)さんが

網地島を訪れたのは「東北」綺麗な海」という小さな記事を見つけたのがきっかけだったそう。そこから網地島の自然の豊かさに魅了されて毎年通うようになったといいます。アメリカ人のリックさんと結婚後、アメリカで数年暮らし2011年に夫婦で網地島に移住しました。  
ミックリーさんは夫婦は農業や化学肥料を使わずに育てた野菜を販売する八百屋さん「みんなの808」をオープンさせました。ご近所さんが育てた野菜も店頭と並んでいます。店番には美佳子さんと娘の多麻(たお)ちゃんがいる日もあったか。

ミックリーさんは島の医院で看護師としても働いています。手間のかかる無農薬野菜の栽培と八百屋さんでの販売、さらにシェア加工場作り...とても忙しいですが、「やりたいことがたくさんあるんです」と微笑みます。

周りを海で囲われた網地島は、



ミックルソン美智枝(みちえ)さん  
夫のリックさんと野菜の栽培・加工・販売をしています。

## 自然の中で暮らしたい 子どもを育てたい

石 巻市出身で大学時代は東南アジアの開発途上国への

支援の勉強をしていたという熊谷陸(くまがいりく)さん。その中で麻(あさ)と出会い勉強を始めたそうです。麻は神社のしめ縄や服の素材として使われる他に、実は七味唐辛子に、また健康食品のヘンプオイルや麻の実ナッツとして食べられます。さらにコンクリートやプラスチック、燃料としても使われたり、土壌改善もしてくれる植物だそうです。

陸さんは麻の実を機械で絞り、そのオイルでバスを動かしたり、各地で麻の啓蒙活動を行うヘンプカープロジェクトの中で、2013年に新潟で「計り売りマーケット」というイベントを主催していた美佳子(みかこ)さんとの出会い、結婚しました。二人が一緒に暮らす場所を探す中で、「自然の中で暮らしたい。

子どもに恵まれたら自然の中で育てたい」という思いがあり、ひよんな流れから網地島に移住を決めたそう。

網地島で子どもが産まれたのはひさしぶりのことで、島のみなさんもとても喜んでくれたそう。布おむつを干していたら、年配の女性が息子を育てた時に使っていた布おむつを持ってきてくれたという、ほっこりするお話もお聞きしました。

美佳子さんはマクロビオティックという食事を勉強していたそう、現在は輸入物のオーガニックの麻の実を材料に麻の実スナックなどのお菓子を作り、オーガニックマーケットに出店しているそうです。今後は、リフォーム中のシェア加工場を使って島の野菜、海藻と麻を使った製品を作っていきたいそうです。

## 網地島の野菜も特産品に

半島で問題になっている鹿の被害はありません。東北のハワイと呼ばれ、レモンやみかんも育つほど温暖な気候で野菜作りには適しているそう。ミックリーさんは夫婦は黄・紫・オレンジの3色の芋を栽培し、干し芋に加工しています。販売すると島の外に出す前に完売してしまう人気商

品。これからさらにシェア加工場で網地島の特産品を作り、販売したいと話されました。今後、加工場には宿泊する部屋も用意するそうです。農業体験をしながら泊まりがけでゆつたりと過ごす、網地島の新たな楽しみ方ができそうです。ミックリーさんは、一緒にやりたいという若者がいてくれたら嬉しいと話していました。



長渡港から歩いて2~3分の場所に「みんなの808」があります。  
木・金・土曜日の朝8時8分にオープン。

## シェア加工場



「みんなの808」の向かいにある、みんなで作る加工場

## やくしまるいくお 美術館

古民家を利用した小さな美術館には、3年かけて描いた大作のイセ、常時約30点ほどの作品が展示されています。



これまで仕事を引退した人が静かに暮らすと網地島に住むことはあったのですが、2011年にミックリーさんとリックさん夫婦が移住してきてから、少しずつ若い移住者が増えて今では10人以上いるとか。それぞれがやりたいことをしながら郵便局や島の医院などで働いたり、小漁師をしたり、画家として暮らしたり、働かなくなった暮らしはさまざまなお話です。

温暖な気候と害獣がない島では四季折々の植物が育ち、時にはみんなが潮風を感じながら海から出る月を楽しみ、鳥のさえずりを聞きながら静かに島の時間を味わえる場所。

船で魚川港に帰ると、なんだか遠くまで行ってきたような気持ちになりました。

### 笑いあふれて二元気

牡鹿地区に住む75歳以上の人が参加する敬老会が9月2日、清優館で開かれ、網地島を含む牡鹿地区の75歳以上の人は現在645人です。鮎川婦人会の素敵なフラダンスや楽しく元気が出る歌と牡鹿音頭が披露されました。

また、石巻市社会福祉協議会では、オレオレ詐欺に気をつけるための寸劇がありました。出演者の笑いを誘う演技で、心に残るひとときになったことでしょう。最後に全員の万歳三唱で敬老会は終了しました。

来年も元気に参加しましょう。



鮎川婦人会の演目で笑いあふれる会場

### 災害に備えて

石巻市消防団牡鹿地区団の消防演習が、9月2日に山鳥の駐車場で行われました。

各地域の消防車両13台と隊員が揃い、火災や災害から地域の皆さんの安全を守るために、日頃の訓練の成果を確認し合いました。最近では、全国各地で災害が起きました。そのような中で消防団の隊員の役割はますます重要になってきています。

隊員のキビキビとした姿に頼もしさや安心を感じるとともに、地域のために働く消防団に感謝したいです。



山鳥駐車場に一堂に会した消防団員、その数なんと約100名！

### 浜にこだまする「ありがとう」

8月25日、今年で6年目となる小淵浜花火大会が開催され、色鮮やかな花火が夜空を彩りました。震災から長きに渡り小淵浜で支援活動を行っているボランティア団体の皆さんと、地元住民が一緒に盛り上がりました。それにちなみイベントです。

夜8時、花火の打ち上げが始まると、集まった地元の方は家族や友人と共に夜空を彩る花火を見つめていました。

この日、最後の花火が大輪の華を咲かせると、港で見ていた地元住民から「ありがとうー！」とひととき大きな声があがりました。それにちなみようにボランティアの皆さんも「こちらこそ、ありがとうー！」と港にこだまするように、お互い感謝の言葉を掛け合いました。

これまでもこれからも、共に復興に向け歩んでいく絆が感じられた花火大会でした。



皆の心が一つとなり美しく咲いた花火

### 懐かしい歌にたくさんの来場者

9月8日、おしか清心苑で敬老会が開かれ、新川二朗さんの歌謡ショーがありました。

はじめに、石巻市出身のマジシャン翼さんが空の紙袋から次々と品物を出す不思議なマジックを披露しました。新川二朗さんは79歳とは思えない歌声と、長い歌手生活のエピソードを話し、集まった人たちを楽しませました。また、鮎川婦人会の皆さんも、新川さんの歌う鮎川音頭に合わせて踊り、会場が一体となり盛り上がりしました。



新川さんの鮎川音頭と婦人会の踊りに合わせて手拍子

### 研究を地域にお返しする

東北学院大学加藤ゼミ 佐藤麻南

2018年1月鮎川小学校にて、東北学院大学文化財レスキューチームでワークショップを行いました。研究成果を小學生にも分かる形で提示するのは、初めての試みでしたが、とても盛り上がりました。今年度に入り、本田先生から「学芸会、一緒にやりませんか？」とご提案いただきました。思ってもみなかった提案に驚きましたが、小學生と一緒に学芸会に向けた準備が始まったのです。

### 学芸会のシナリオを作ろう

10月13日に開催される鮎川小学校の学芸会では、児童と東北学院大学の学生による劇が披露されます。鮎川小学校の地域に根ざした教育と、東北学院大学の地域へと還元される研究。それぞれの活動を通じ、今まで協同してきたことが学芸会の劇で形となります。学芸会の劇をコラボレーションするまでのお話を寄稿いただきました。

学芸会では牡鹿半島に伝わる昔話を使おうということが決まり、まずは小學生と仲良くなるために、昔話に出てくるサルをテーマにしたゲームを企画しました。3・4年生のみんなは、とても楽しんでくれて、あつという間にうちとけました。

次は、劇を作るために昔の道具やくらしについて地域のおじいさん・おばあさんに聞き取り調査に行きました。まずはどんな話を聞きたいか大學生と小學生がペアになり作戦会議をして、出発！初めての

の聞き書きに最初はなかなか話を引き出すことができませんでしたが、大學生がフォローしながら鮎川の昔のくらしについて聞くことができました。それをもとに本田先生と劇のシナリオを考えました。聞き取り調査の内容も盛り込み、とても楽しいシナリオになりました！

学芸会の当日は体育館にこれまでの活動を紹介し、もともとなった牡鹿の昔話も展示します。また、小學生が聞き取り調査をまとめた壁新聞も展示する予定です。ので、こちらも合わせてご覧ください。



鮎川小学校と東北学院大学のコラボ企画！

### 郷土を愛する心を育む

学芸会のシナリオを作ろう

### 地域に根ざした教育

鮎川小学校3・4年担任 本田秀一

鮎川小学校では、地域に根ざした教育として牡鹿に伝わる伝統芸能「鮎川七福神舞」や「金華山黒潮太鼓」に取り組んでいます。

その他に3・4年生の総合的な学習の時間では、「笑顔満点プロジェクト」と題して、地域の「人・こと・もの」とふれあう活動を行っています。その活動を通して、子どもたちが地域の良さを再発見

し、郷土を愛する心情を育むことをねらいとしています。2017年12月に牡鹿の歴史的資料の調査・保存活動を行っている東北学院大学の加藤幸治教授とその研究室の学生との出会いがあり、2018年1月に牡鹿半島で使用されていた民具を子どもたちに紹介するワークショップを実施していただきました。

その授業をきっかけとして、5月に児童が地域のおじいちゃん・おばあちゃんから牡鹿の昔について学ぶ活動を加藤教授





▶ ほっとまる感謝祭開催!



日頃、ほっとまるをご利用いただいている皆様へ感謝を込めて、感謝祭を開催します。  
プールに浮かべたアクアチューブで遊んだり、的当てやボーリングなどのアトラクション、焼き鳥やラムネなどの軽食(無料)を用意しています!ぜひ遊びに来てくださいね!



開催日:2018年10月11日(木)  
時間:午後2時から午後5時まで  
会場:牡鹿交流センター ほっとまる  
入場料:イベント参加無料  
(お風呂などの施設利用は有料)  
お問合せ:牡鹿交流センター ほっとまる  
0225-45-3618

▶ 第2回 牡鹿ウォーキング教室開催 受講者募集!

2回目の開催となる牡鹿ウォーキング教室。今回はおしか御番所公園をウォーキング!体を動かすきっかけに...!景色も堪能しませんか?



開催日:2018年10月5日(金)  
時間:午前10時から(午前9時45分集合)  
場所:おしか御番所公園(おしか御番所公園駐車場集合)  
対象:石巻市民(医師から運動制限を受けていない方)  
講師:石巻ウォーキング会  
内容:ウォーキング実践(約1.6キロのコース)  
申込締切:9月28日(金)  
申込み・お問合せ:石巻市牡鹿公民館 0225-45-2611

▶ 牡鹿半島チャレンジライド2018  
ーヒルクライム&ファンライダーー

まだまだ終わらないサイクルイベント!全力で駆け巡るライダーをみんなで応援しませんか?

開催日:2018年10月21日(日)  
出走時間:午前9時 終了時間:午後4時  
お問合せ:一般社団法人石巻圏観光推進機構 0225-98-8285  
走行ルート:女川町たびの情報館ぶらっと⇒コバルトライン⇒大六天山駐車場⇒おしか御番所公園⇒鮎川浜(昼食)  
⇒コバルトライン⇒女川町たびの情報館ぶらっと

※開催に伴いコバルトラインの一部区間(女川〜野々浜、小積浜へ抜ける道)まで約10キロが午前8時30分から午後10時30分まで通行止めとなります。

▶ 第7回石巻市民食育健康フェスティバル開催のお知らせ

食と健康をテーマにした試食コーナー、歯科医師・保健師・薬剤師による健康相談コーナー、骨密度の測定などの体験コーナー、お楽しみ抽選会などを開催します。ご家族揃ってお越しください!

開催日:2018年10月14日(日)  
時間:午前10時~午後2時30分  
会場:石巻市遊楽館(石巻市北村字前山15-1)  
お問合せ:石巻市健康部健康推進課 0225-95-1111



てくてくおしか

みなさんは、牡鹿半島のドライブで動物を見かけますか?私は最近、通勤の途中などでさまざまな動物を見かけます。鹿はもちろん、テンやタヌキ、そしてリスなどが草や木の実をむしゃむしゃ。そしてびっくりしたのは子ギツネが車を見ながら道路脇に座っている姿。そんな可愛い動物たちですが、私は車で動物の横を通り過ぎる時「飛び出してこないでね〜!」といつもドキドキしてしまいます。みなさまも、運転には十分気を付けてくださいね。

(このまた)

2018年10月7日(日)  
しんろく  
神鹿角切り行事祭